省、卓球交流試合控え

を深めた。2019年に同省湖州市で催された第2回大会以来、4年ぶりに参加する浜松修学舎中3年の杉山愛依さん＝富士市出身＝は「前回はベスト8だった。今回は攻撃的に仕掛けて成長した姿を見せたい」と意気込んだ。

レセプションに先立って行われた吉林章仁副知事と朱副省長の会談では、災害対策の情報共有などを話し合い、継続的な交流を確認し合った。朱副省長は「卓球を懸け橋に、

吉林副知事は「大会は県と浙江省の友好提携30周年の記念交流がきっかけで始まった。これからもスポーツを通じて絆を強めたい」と応じた。

（東部総局・水野紗希）

元嘱託 不当利益168万円

県シルバー人材センター連合会 啓発品を不正発注

県シルバー人材センター連合会（勝又武利会長）は26日、60代の男性元嘱託職員が2017〜18年度に行った啓発品作成業務で不正な発注を行い、合計168万7578円の不当な利益を得ていたと発表した。元嘱託職員は不正発注を認めているが不当利益の返還に応じていないことから、同連合会は民事訴訟や刑事告発も視野に請求を続けている。

同連合会によると、元嘱託職員は17〜18年度、別のポスター作成で取引のあった県内の印刷会社に「知人の会社」として自身がかつて経営していた会社を紹介し、印刷会社から啓発品の作成を受注。さらに中国の仲介業者を介して、啓発用のLEDライト付きキーホルダー合計約4万7000個分を作成し、受発注時に不当な利益を得ていた。

同連合会から印刷会社に啓発品を発注する形だったことから、不正が見抜けなかったという。県などに匿名の通報があり発覚した。

17年度分の発注は県の補助金を受けていて、同連合会は既に不正利益分の補助金と加算金を県に返還したという。元嘱託職員は19年3月に停職14日間の懲戒処分を受け、19年度は雇用契約を結んでいない。県庁で記者会見した連合会の山崎敦事務局長は「信頼を損なう事態で申し訳ない。再発防止の徹底を図りたい」と話した。

億円上方修正し、350億円とした。

今月10日には、袋井市のエコパスタジアムで開催される日本ーアイルランド戦を含む全48試合を対象に、チケットの一般向け第4次

けなくなった人のチケットを定価で再販売するリセールサービスも行っていて、売り切れた試合のチケットを再び確保できる可能性もある。

（東京支社・八木敬介）

市教委担当者らを専門家が聞き取り

千葉・女児虐待死

千葉県野田市立小4年の栗原心愛さん＝当時(10)＝が1月に死亡した虐待事件で、野田市は26日、市教育委員会の担当者や、通っていた小学校の校長らの聞き取りを専門家に依頼したと発表した。市は聴取結果などを踏まえ、早期に再発防止策を取りまとめたいとしている。

野田市は、市幹部や有識者らによる合同委員会を立ち上げて検証を進めていたが、作業の迅速化のため、日本子ども虐待防止学会の奥山真紀子理事長と山

る」と119番があった。警視庁築地署によると、ビルにいた人や通行人など男女計8人が病院に搬送されたが、全員意識があり、程度は軽いとみられる。

築地署によると、ビ

いで東京都国分寺市東恋ケ窪、無職中島翔容疑者(31)を再逮捕した。同課によると「2017年春以降、万引した400点をフリーマーケットアプリに出品し、約250万円を稼いだ」と供述している。

今年5月、NPO法人全国万引犯罪防止機構（東京）から「チェーン店の商品を個人が多数出品している」と情報提供があり、出品者の中島容疑者が浮

の大手チェーン店でジャケット1枚（販売価格約6500円）を盗んだ疑い。「生活費などに充てた」と供述している。

フリマアプリを巡っては、盗難品や偽ブランド品の売買に悪用されるケースが問題となっている。

都内マンション 男女遺体を発見

熱中症か

東京都足立区伊興3丁目にあるマンション

人の遺体が見つかっていたことが26日、警視庁竹の塚署への取材で分かった。同署は住人の無職石田高志さん(71)と妙子さん(67)夫婦とみて身元確認を進める。目立った外傷はなく、熱中症や持病の疑いがあるという。

同署によると、2人で暮らしていたとみられ、それぞれ別の部屋に敷かれた布団の上で見つかった。室内にエアコンは設置されておらず、妙子さんの部屋にだけ扇風機があり作動していた。

25日午後4時20分ごろ、マンションを管理する不動産会社が「異臭がする」と交番に届けた。今月上旬、近隣住人が高志さんの姿を見掛けていたという。

方改革 足元道半ば

着用させる規定があるかどうかを、航空ころ、回答した28社のうち20社に規定がたものの、ガイドラインなどを設けてい細かく定めた企業もある。

ンプス（足の甲のあ婦人靴）姿での接と知られる業界の主企業（航空16社、銀保険6社、百貨店、ホテル3社、携話3社）を選んだ。着用を義務化、また奨する規定はあるとの問いに、20社は「ある」と回答。規定はないとしたうち、3社にはガイドラインや模範例があった。

航空は16社中15社が客室乗務員（CA）などに具体的な高さや幅を定めている。CAの機内用ヒールは日本航空が「高さ3〜4センチ、幅3〜4・5センチ」、全日本空輸が「高さと幅は3〜5センチ程度」などと取り決めていた。

来年就航するZIPAIR Tokyoはヒールの規定がない。スニーカーを採用予定で「耐久性に優れ、動きやすく疲労を軽減させる効果を見込んだ」と回答した。

携帯3社のうちNTTドコモは、代理店が運営するドコモショップのスタッフにヒール付きのパンプスを配備していたが、働き方改革を理由に見直し、パンプス以外もOKとした。

高島屋はガイドラインを見直す方向で検討中。制服着用の販売員はパンプスで、ヒールの高いものは避ける（5センチ以下）となっている。大丸松坂屋百貨店は、制服着用の販売職は高さ5センチまでと定める。健康上の理由で「異装届」を出せばパンプス以外も履けるという。

KDDI	高さ6センチまで（ヒールなしも可）。スカートの制服着用時はローファー可
高島屋	パンプスはヒールの高いものは避ける（5センチ以下）など販売員向けのガイドライン有り。見直しを今後検討
J・フロントリテイリング（大丸松坂屋百貨店）	店頭の販売職は、黒色パンプス、ヒールの高さ5センチまで。「異装届」を出せばパンプス以外も可
三越伊勢丹ホールディングス	パンプス着用の場合は黒系、ヒールの高さ1〜5センチ程度とするガイドライン
帝国ホテル	黒色パンプス、ヒールの高さ3〜5センチ程度
三菱UFJ銀行	制服着用の女性は、原則黒色パンプス、ヒールは高すぎないもの（5センチ程度）が望ましい
第一生命保険	ビジネス仕様のパンプス、ヒールの高さ3〜7センチ程度とする模範例

#KuToo 職場でヒールのある靴を「女性のマナー」として強制されるのは苦痛だと訴えるキャンペーン。「靴・苦痛」と、性暴力を告発する動き「#MeToo」を掛けた。女優でライターの石川優実さんがアルバイト先でヒールの高さ5〜7センチのパンプス着用を求められて足を痛め、着用を強いる風潮を変えたいとツイッターに投稿したことがきっかけ。インターネットで署名を呼び掛けると3万人超が賛同。長時間履くと外反母趾（ぼし）や腰痛といった健康被害があるほか、女性に強いるのは性差別でハラスメントにもなり得ると指摘される。

「足が痛い」は日常会話

「『足が痛い』は日常会話。自由に靴を選びたい」。国内のある航空会社で国際線を担当する50代の客室乗務員（CA）の女性は長年、足の痛みに悩まされてきた。パンプス着用は義務で、ヒールの高さも決まっているが、ひそかに規定より1センチ低くしたら「かなり楽」だった。仕事に向かない靴を履かされるのは「男性目線の『美しさ』が過度に求められているから」と感じている。

女性によると、飛行中の機内は常に傾斜があり「坂道で踏ん張っている状態」。十数時間のフライト中、2時間弱の休憩以外は立ちっぱなしで、重いカートを押し、荷物の上げ下げをこなす。

両足とも外反母趾（ぼし）で、腰痛持ち。右足首にはしびれもある。履きやすいパンプスを追求したが、痛みは取れない。多くの同僚も悩みは同じだが「個人で解決すべき問題にされている」。規定は靴以外もあり、アレルギーがない限り白髪は染め、化粧も濃いめとされる。

CAの最も大切な業務は「保安」のはずだが、足に合わない靴でできるのか疑問だ。

一方、海外の航空会社でCAだった40代の女性によると、ヒールなしでOK。女性は「見た目も大事」とヒール靴を履いたが、選べることの大切さを感じていた。

サクラエビ不漁

ニュースに一言

駿河湾サクラエビの深刻な不漁を受け、静岡、山梨両県が濁りの実態調査を進める雨畑ダム（山梨県早川町）の堆砂問題について、山梨県知事がダムを管理する企業に対して堆砂除去を行うよう要請する方針を明らかにした。

松平桃香さん（専門学生、18歳）＝富士宮市＝今年になってから、サクラエビ不漁の原因が出身の山梨県にあるかもしれないと聞きました。他県が特産品を消してしまう事態はいくつかあるかもしれませんが、地元だけに悲しくなりました。

サクラエビで有名な地域に住んでいる友人に聞いたところ、不漁により何年も「桜えびまつり」が開催できず、取り扱っている飲食店も来客が減少しているようです。私も友人と食べに行こうと約束をしていましたが、この事態を知って断念しました。サクラエビを観光名物としている地域にとっては大きな痛手を負ったと思います。最近では台湾産も輸入されていますが、駿河湾産の方が甘くておいしいそうです。

問題を解決するのは難しいことなのかもしれませんが、深刻な不漁から復活し、サクラエビで栄えていた地域のにぎわいが帰ってくることを楽しみにしています。

地域のにぎわい復活を待ち望む

ディーポップ
DeePop
～はじける世代を深く

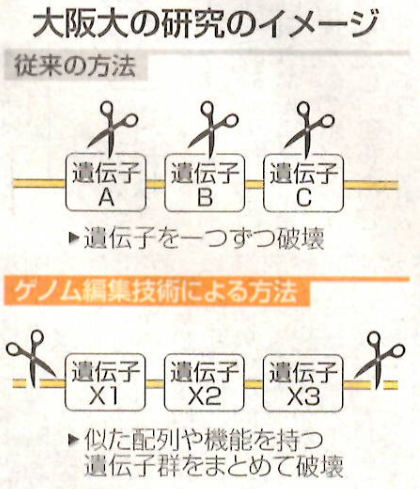
ツイッター、投稿専用コード

受精に必須の遺伝子群発見

大阪大

ゲノム編集技術使い

生物の遺伝子を改変できるゲノム編集の技術を使い、精子が卵子と受精するのに必須の遺伝子群を、マウスを使った実験で発見したと、大阪大微生物病研究所の伊川正人教授（生殖生物学）らのチームが26日、発表した。27日以降の米科学アカデミー紀要電子版に掲載。男性に原因がある不妊のメカニズム解明、診断や治療への応用が期待できるという。



大阪大の研究のイメージ

チームは、遺伝子を一つずつ破壊するのではなく、似た配列や機能を持つ遺伝子群をまとめて破壊できる「クリスパー・キャス9」というゲノム編集手法を採用。精巣で多く見つかり、生殖に関係していると考えられる遺伝子のうち、二つの遺伝子群と特定の1遺伝子をそれぞれ破壊した3種類のマウスを作製した。

このマウスの精子を観察すると、運動量に問題はないものの、子宮から、受精の場となる卵管へ移行できないことが分かり、受精に必須の遺伝子だと分かったという。

人にも似た遺伝子群があり、男性の避妊薬開発に応用できる可能性もあるとしている。

クリスパー・キャス9はゲノム編集技術の一種で、簡単で効率的に遺伝子を改変できる。

山梨 幹郎氏（やまなし・もとお＝元県体育協会専務理事）25日午後6時9分、胃がんのため死去、78歳。自宅は静岡市清水区月見町7の28。通夜は28日午後6時から、葬儀は29日午前11時から静岡市清水区春日1丁目3の7、あいネットホール春日で。喪主は妻照子（てるこ）さん。

県体協の組織充実や財政基盤の確立に尽力した。静岡陸上競技協会の事務局長も務めた。

新山 ひでや氏（にいやま・ひでや＝漫才師、本名柘野信司＝つげの・しんじ）23日死去、73歳。栃木県出身。葬儀・告別式は29日午前10時半から東京都北区東十条1の20の5、東十条駅前ホールで。喪主は妻新山やすこ（にいやま・やすこ、本名柘野保子＝つげの・やすこ）さん。

保子さんとのコンビ「新山ひでや・やすこ」として、94年から夫婦漫才で活動していた。